

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコ
代表者名 代表取締役社長 伊藤 貴 俊
(東証1部・コード8892)

千代田区景観まちづくり重要物件共同プロジェクト
新規分譲マンション「レ・ジェイド クロス 千代田神保町」およびオフィスの
複合開発着手に関するお知らせ

当社は、下記の通り、千代田区景観まちづくり重要物件に指定された歴史的建造物「東方学会本館」(以下、「同館」といいます。)の隣接地において、定期借地権付新規分譲マンション『レ・ジェイド クロス 千代田神保町』およびオフィスの複合開発を行うこととしましたので、お知らせいたします。

記

1. 開発経緯

同館は、1947年に外務省所管のもと、日本の東方文化の学術的研究の発達、東方諸国の文化の進展および国際文化の交流を目的に設立された「一般財団法人東方学会」(以下、「東方学会」といいます。)の本部建物として現在も使用されております。同館は、歴史的価値を有する建造物として「千代田区景観まちづくり重要物件」に指定されており、2022年4月以降に耐震補強等改修工事が行われる予定です。

当社は、この改修に伴い、隣接する「東方学会新館」(2021年9月解体済)の跡地において、同館と一体となる形で住宅・オフィスの複合開発を行います。低層階のオフィス部分は、既存建物である同館と接続させ、デザインの調和を図り一体感を創出する開発を行います。中・高層階の住宅部分については、定期借地権(期間73年3ヵ月)付新規分譲マンション『レ・ジェイド クロス 千代田神保町』(総戸数50戸、内30戸販売予定)として開発を行います。

この複合開発を通し、同館の持つ歴史的価値を継承しながら、現代的なデザインも取り入れ、都心ならではの理想の暮らしを実現してまいります。



現在の東方学会本館 (2021年12月撮影)



外観完成予想図

2. 立地特性

当該物件は、最寄りの東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町」駅まで徒歩4分と近く、また「九段下」・「水道橋」駅の3駅5路線を利用できることから、「大手町」駅へ電車で直通2分、「新宿」駅へ同7分など都心の主要駅へ自在にアクセスできる交通利便性に恵まれた立地です。

周辺は、多数の書店が集まる「本の街」として名高く、また皇居外周のランニングコースや、桜・紅葉で四季を感じられる「北の丸公園」も身近など、利便性と文化や豊かな自然を兼ね備えた希少性の高い住環境です。



■物件概要

物件名称：レ・ジェイドクロス 千代田神保町
 所在地：東京都千代田区西神田2丁目2番7他（地番）
 交通：東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線
 「神保町」駅徒歩4分、
 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線
 「九段下」駅徒歩6分、
 JR中央・総武線（各停）「水道橋」駅徒歩7分
 構造・規模：鉄筋コンクリート造地上14階地下1階建
 土地権利・借地権種類：定期借地権
 分譲後の権利形態：敷地/借地権（地上権）の準共有
 専有部分/区分所有権
 共用部分/区分所有者全員の専有面積割合による
 所有権の共有
 総戸数：50戸（内、販売戸数30戸（予定））
 入居予定：2023年9月下旬
 販売予定時期：2022年5月下旬
 物件サイト：<https://sumai.es-conjapan.co.jp/jimbocho30/>



※掲載の完成予想図は、図面を基に描き起こしたもので建物の形状、仕様、色調、外構、植栽等は行政官庁の指導、施工上の都合および改良のため、一部変更が生じる場合があります。敷地周辺の建物・電柱・標識・架線・ガードレール・植栽等は、一部簡略化および省略しております。植栽につきましては特定の季節の状況を表現したものではありません。竣工時には完成予想図程度には成長していません。また、季節ごとに咲く花々を同時に描いております。

<本件に関する問合せ>

管理グループ 広報・IR担当 電話 03-6230-9308

以上